

空間情報社会で待ってる

空間情報を通じて

参加型の

社会を
つくりたい！

自らの社会を

教育 自分で
描けるように

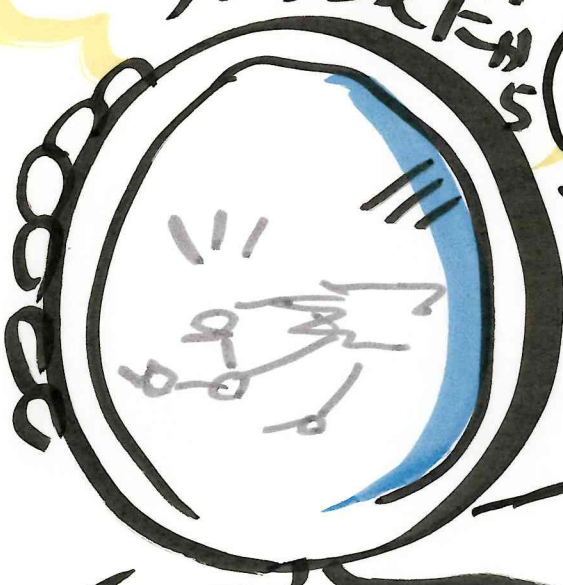
したいから

瀬戸さん

社会の情報も
うつす鏡だから

コミュニケーション
ツールだから

社会
問題を
変える



データ

地図

おかしなところ

あそこが
この大問題

病気の発生
118

災害

みんな

地図をよみかきできる = データを使える

空間情報

国の
矢印が
たまること
で
おかしな
ところ

だからでも・いつでも・どこでも！

参加できる社会

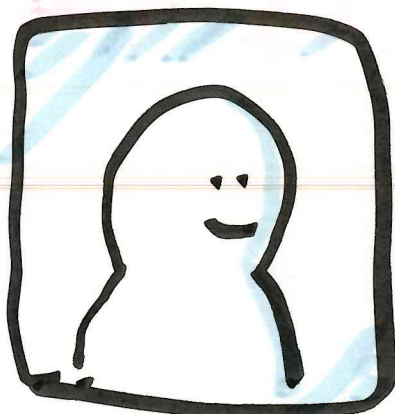
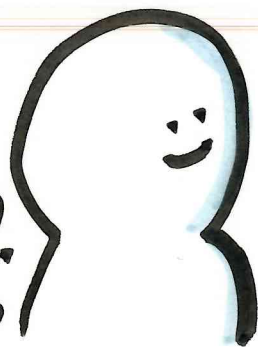
どう
データ使ったら
いいかな？

研究
防災

参加型空間情報社会が 大事なのよ

① 社会の鏡

- 何かあるのか?
- それがあるのか?
- どんな場所か?



いつでも、誰でも
どこでも、
空間情報を
体えるよ!!



瀬戸先生

東京大学CSIS

② コミュニケーション ツール

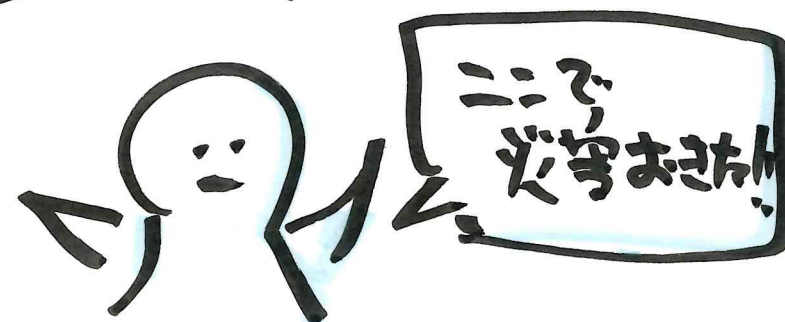
- 言葉を使わない
→ コーピング

- 図にいたの
情報



③ 教育

- 生きていく上で
必要の情報 SWTHの
where.
- 自らで情報発信できる



空間情報はなぜ大事か

Point
① 社会の意味ある

参加型
デジタル社会
である！



瀬戸さん

東大CSIS



Point 2
コミュニティ



Point 3
生活に必要
な教育

SDG 災害 復興